

災害体験 VR アプリ



○ポイント
ヒロイン「チノ」
があなたを優しく
ご奉仕... (意味深)

● アプリ要素

二眼VR (注)
シナリオあり
災害イベント
ヒロイン「チノ」
あらすじ
昼休み、小腹が空いた山本
はラビットハウスという名
の喫茶店を見つける。その
名前からうさぎだらけの喫
茶店に間違いのないと思ひ店
に入ると ...

● 問題点

災害に対する意識
が低い人が多い

● 解決後

災害に対する意識
を高める

● 検証結果

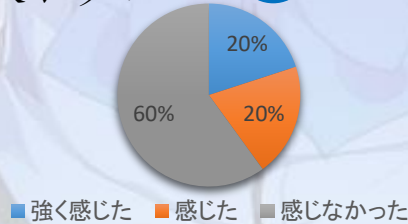


図1 危機感を感じたか

検証項目一覧 アンケート

- 危機感を感じたか
- 酔いを感じたか
- 萌えを感じたか
- 操作性はどうか



まとめと今後の課題

・災害体験 VR アプリのプロトタイプ開発終了後
に、2EP1クラスを対象としアプリのデモを行い
災害に対する危機感を感じたかについてアン
ケートを行った。

[アンケート結果]上記の円グラフ参照(図1)

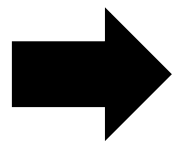
- ・アンケートを集計すると約6割の人が危機感を
「感じなかった」と評価している。主な理由は
迫りに欠けていることである。
- ・今後の課題としては、より迫力のある災害の疑
似体験にする必要がある。

注) 13歳以上対象



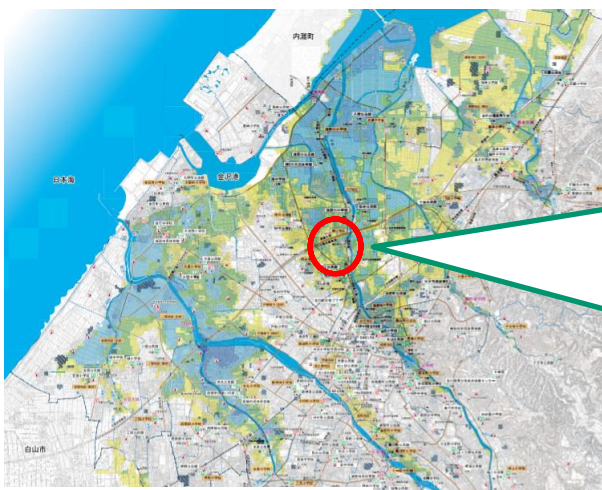
H28年度プロジェクトデザイン実践
テーマ: VRによる災害体験
チーム番号: C3
チーム名: ご注文は蘭墜ちですか?
メンバー: 本間優、山本一史、
吉越太輝、中山翔夢、福井夢斗
担当教員: 西川先生

VRハザードマップ



被害を
予想しにくい

従来のハザードマップ



浸水合成表示



360度カメラで
撮影した画像に
浸水の様子を
合成する



VRハザードマップ